オープン

車販売店で、県内（社長）が、宇部市ゲ宇部店」（市中央シェア1位メーカノンする。

ロシゲは、明治30年米国ハワイ州ホノル自転車店を経営して弘重社長の曾祖父、さんが帰国後の明治に現在地で、弘重自商会を創業したのが り。昭和40年代に、片表記の「ヒロシゲ」と、自転車全般を扱う店へと成長。現存する自転車店では、県内最古としても知られる。

同店によると、近年のサイクルスポーツ人気の急上昇により、顧客は周南市から岩国市まで、県東部全域に及んでいるが、約2年前から商圏的に人口の多い、県央・県西部地域への出店を計画。今年2月、立地条件の整った宇部市への出店を決めたという。

宇部店は、2階建てビルの1階（45坪）を改装し、誰もが入りやすく、清潔感のある室内設計にした。一般自転車の販売はなく、米国シェア1位メーカーの「トレック」を扱う専売店に伴い、柳井商工会議所は、西京銀行柳井支店と日本政策金融公庫岩国支店と連携し、同社の新規出店を支援している。

（写真はサイクリング・サロン・ヒロシゲ宇部店の外観）

営業時間は、午前10時から午後7時まで（日曜日と祝日は午後6時まで）。定休日は毎週月曜日。スタッフは2人体制。

主催するスポーツバイクイベント「キャノンボールライド」は今年で27

弘重社長（49）は「サザンセト・ロングライドの開催により、地元のサイクル人口が増えてきた。県西部地域は未開拓地でもあるため、宇部店出店を機にサイクルライフを始めるきっかけにしたい。

は「ビジネスを成功させるマナーの秘訣」。稲川氏は、国内大手航空会社2社で学んだ接遇・マナーを基に中小企業から大手企業まで、幅広く社員教育、接遇マナー、新入社員マ

一般聴講もでき、入場無料。また、講演会前には、第8回定時総会（15時30分から）を、記念講演会後には懇親会（18時15分から）も開催する。

問い合わせ先は、柳井

発展と税務行政の円滑な執行に寄与するとともに、柳井・大島地域の地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目的に、様々な活動を積極的に展開している。

紹介

井竹細工教室会員作品展

月24日 伊保庄の星の見える丘工房で

井竹細工教室（安原代表）の「第3回会員展」が5月24日（木）、市伊保庄八幡団地内る星の見える丘工房われる。午後1時か時間。

の教室は、40数年前まった伊保庄竹細工が前身で、約10年前から柳井竹細工教室に名称変更して活動。現在は、柳井市近郊を中心に29人（うち、女性7人）の会員が所属。日本伝統工芸展や西日本伝統工芸展、山口県美展、柳井市美展などに入選する作者も排出し、竹細工の技法は全国レベルで、県内においても他に類のない教室へと成長している。

今回の作品展には、会員が1人1～2点の合計約50点を出展する。なお、作品展見学者には、会員手作りの一輪挿し花かごや竹トンボ、風車などが、先着30人にプレゼントされる。

問い合わせ先は、安原代表（☎0820・23・1748）まで。

ロングライドの募集開始

自転車イベント 10月7日、2コースで開催

瀬戸内の知られざる名ルートを自転車で走るサイクリングイベント「2018サザンセト・ロングライドinやまぐち」の申し込みが、5月2日から始まった。締め切りは、9月9日（日）24時まで。

5回目となる今年は、10月7日（日）に開催。柳井市を発着点に、周防大島町、上関町、平生町、田布施町のサザンセト地域を舞台に、全長152・4キロ（最大標高差272m）のロングライドコースと昨年から導入した全長約70キロのショートコースの2部門で実施される。

計画によると、10月6日（土）に前日祭が行われ、翌7日（日）は、午前6時15分にロングライドコースが、同7時30分にショートコースが、それぞれ市内新庄の柳井ウェルネスパークをスタート、ゴールとする。

このイベントは、タイムを競うレースではなく、スタートから11時間30分以内（ショートは5時間30分以内）にゴールするサイクリングイベント。制限時間を超えた場合は、タイムオーバーとなり、走行を続行できないという。

コース中には、昨年と同じく、「むくのパーク」「なぎさパーク」「橘ウインドパーク」（以上、周防大島町）、「伊保庄マリンパーク」（柳井市）、「道の駅上関海峡周辺」（上関町）の5カ所のエイドステーション（休憩所）を設ける予定にしている。

ロングライドコースの対象者は中学生以上で、募集人員は1200人（昨年は1300人）。参加費は1人9000円（損害保険料など含む）。

ショートコースは、小学生以上（小学生は保護者同時エントリーが必要）で、募集人員は300人（昨年は200人）。参加費は1人6000円（同）。締め切り日までに定員を満たした場合は、その時点で募集終了となる。

問い合わせ先は、柳井商工会議所（☎0820・22・3731）まで。

なお、昨年は1503人（ロング1299人、ショート204人）がエントリーし、当日は1355人が出走した。

車用の金魚シールを販売

木阪賞文堂 レコーダーと子供乗車の2種

柳井市中央3丁目の木阪賞文堂（木阪泰之社長）が、金魚ちょうちんを使った新商品を作って販売している。

今回の商品は、「ドライブレコーダー搭載車」シールと、「KIDS IN CAR」シールの2種類だ。ドライブレコーダーは、悪質な割り込み運転などが事件になり、最近急速に普及してきた。

「KIDS IN CAR」の方は、これまで小さなシールがあったが、「もっと大きなシールを作ってほしい」というお客からの要望で、制作に踏み切った。

大型ドライブレコーダーシールは、680円（税別）。KIDS IN CARの方は、600円（税別）だ。いずれも金魚ちょうちんのデザインが入っている。木阪社長の金魚ちょうちん愛には、頭が下がる。

（写真は販売中の「ドライブレコーダー搭載車」シールと「KIDS IN CAR」シール）

稿

朝のこない晩はない

れでは山口県がやらなきゃあならん理由があります。

です。

そして十年間コンビを

機会これあり、ケーブルテレビの柳井市出資につ